

## 技術・サービス

### ■1) アルミニウム合金鋳物の試作品製造

▷ 当社の主な業務は、自動車用アルミニウム合金鋳物部品の試作品製造であり、精密砂型鋳造、高精度機械加工、高精度測定・検査までを一貫通的に社内で行っています。

### ■2) アルミニウム合金鋳物の高機能性化技術の開発

▷ 当社では、アルミニウム合金を完全に溶融せず、半溶融状態のまま金型又は金型+砂型中に、低速・低圧で圧入する半溶融成形法(チクソキャスト法)を開発し、アルミニウム合金鋳物に従来にならぬ高機能性を持たせることに成功しました。

- ・高い鋳物品質、高強度・高延性
- ・砂型が使えること(ハイブリッドモールド法)による高い成形の自由度
- ・ダイカスト合金の2倍の高熱伝導率を持つアルミニウム合金鋳物
- ・熱処理レスでJIS合金AC4C-T6を超える高強度アルミニウム合金鋳物
- ・アルミニウム基複合材(MMC)による鋳物

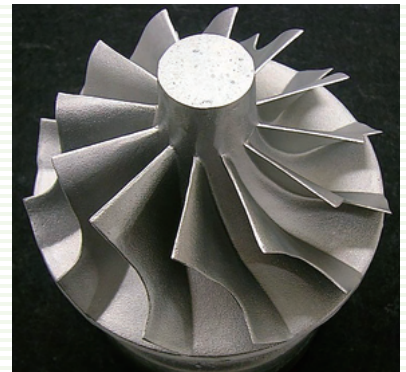


図1 ターボチャージャ用インペラ

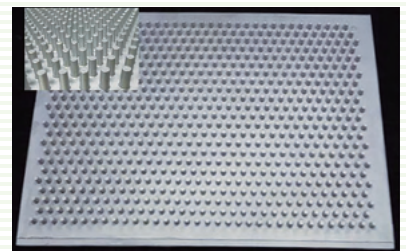


図2 A4サイズのヒートシンク

## 強み

- ▷ 1) 試作品製造では、ダイカスト品と同程度の鋳肌・肉厚を可能としています。JIS以外の合金種の鋳造や特殊な熱処理にも柔軟に対応いたします。
- ▷ 2) 半溶融成形法の特長を生かして、図1のようなアンダーカット部を有する先端0.5mmのターボチャージャ用インペラの試作を行っています。また、高熱伝導率アルミニウム合金を使用して、図2のようなA4サイズのヒートシンクの試作鋳物の製作も行っています。

## メリット

- ▷ 1) 試作品製造では、高いQCDが維持できるとともに、設計変更にも迅速に対応できます。特殊なアルミニウム合金の鋳造や熱処理にも対応できます。
- ▷ 2) 半溶融成形法を活用することにより、種々の高機能性アルミニウム合金鋳物を提供することができます。

企業名	株式会社浅沼技研			電話	<b>053-486-1240</b>
所在地	浜松市西区湖東町4079-1			FAX	053-486-1376
代表者名	代表取締役 浅沼 進	設立年月	1978年10月1日	URL	<a href="http://www.asanuma-g.jp/">http://www.asanuma-g.jp/</a>
資本金	314,100千円	従業員数	70名	問合せ担当	上久保 佳則
事業内容	輸送用機器/産業用機器の試作品製造				
拠点(国内・海外)	本社工場				
主要取引先					
認証・規格	ISO9001, JCSS0087				